

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



私は常々、「本校の子どもたちは力がある」「本校の教職員は力がある」ということを証明したいと考えています。ですから、「結果にもコミットしたい」のです。今回、「健康教育（歯科指導）」の面でも評価をいただきました。そしてこれは、保護者の皆様とスクラムを組んでの結果でもあります。今年度の残り10ヶ月、“地道に” “愚直に” 子どもたちに向き合いながら力をつけていきます。



福島県学校歯科保健優良校表彰「優秀活動奨励賞」をいただきました

昨年度末に、本校の「歯科指導」への取り組みをまとめて、「学校歯科保健優良校表彰」の中の「活動奨励賞」に応募しました。この度、その結果が届き、「優秀活動奨励賞」をいただきました。

「活動奨励賞」の部には、県内から17校が応募していましたが、その中で「優秀活動奨励賞」をいただいたのは、“本校ただ1校”です。

「歯科指導」は、学校だけでできるものではなく、歯医者に通うなど保護者の方の協力があったのもです。「歯科指導」の“効果”も評価しての賞ですから、保護者の皆様とともに喜びたいと思います。

加えて、本校の学校歯科医の穴戸計一先生（穴戸歯科医院）には、日頃の子どもたちへの歯科指導とともに、今回の応募に際しても多大なるご指導をいただきました。ここに心より感謝申し上げます。

なお、このような状況から、表彰式は行われず、関係する方々が、後日本校を訪問する予定となっています。その際の様子を、改めて紹介させていただきます。

第五方部社会福祉協議会様より「除菌剤」を寄贈していただきました



6月3日（水）に、第五方部社会福祉協議会長 二瓶 勝雄 様と、福島市民生児童委員協議会第五方部会長 根本 妹子 様が代表で来校され、第五方部社会福祉協議会様から「除菌剤（消毒用）」をいただきました。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大によるこのような状況の中で「本校の子どもたちのために何かできないか」を考えてくださったことです。子どもたちの安全・安心な生活のために役立たせていただきます。

〈寄贈品〉次亜塩素酸系除菌剤「コレスゴ!」50箱（1箱30包）

新たな出発の日に「学年集会（6年）」を開きました。

6月1日（月）に校長から“エール”をおくりました。また、代表が決意を述べました。「あと10ヶ月、されど10ヶ月」大いなる成長を望みます。



「六年生になって」 村上 彩華

私が六年生になってのめあては、二つあります。

一つ目は、メリハリをきちんとつくることです。そうしないと、授業中に遊びのことや、余計なことを考えてしまうこともあります。今は今やることしか考えない、今は別のことを考えるのはやめよう、など、メリハリをつけて行きたいです。

二つ目は、みんなにたよられる、リーダー的存在になることです。そうしないと、困っている一年生や友達に進んで教えたり、助けたりできないので、勇気を持って話したり、困っていることにいち早く気付いたりできるようにしたいです。

そのためには、勉強や生活にしっかり取り組んだり、工夫をして行ったりします。それに、何事もチャレンジが大切・必要だと思っています。

「六年生になって」 塚越 陽人

ぼくは、六年生になって、まず、勉強をがんばりたいです。お母さんがよく、「小学校の勉強ができていないと、中学校でついていけないよ。」

と言います。六年生になって、もらった教科書は分厚く、内容も難しくなっていました。コロナで、授業が思うように進まない今、家での勉強がとても大事になってくると思います。学校では、しっかり授業を聞いて、分からない問題を作らないようにしたいと思います。

次に、このコロナウイルスの休校のせいで、いろいろな行事が中止になってしまいました。運動会や鼓笛パレードなど、本当ならば六年生が中心となって、下級生に清明小学校のよいところも伝える機会が減ってしまったことが残念です。ですが、こんな時だからこそ六年生のぼくたちが、下級生のお手本となれるような生活をしたいと思います。

小学校最後の一年です。一日一日を大切に、そして、楽しんで過ごしていきたいと思っています。